



学校応援隊はえぼる

できる人が・できることを・できるときに

南風原町学校支援地域本部事業

平成24年8月28日
第 5 号

平和学習特集 (北丘小)

鎮魂の季節6月、平和と命について学びました。

【北丘小学校 全学年】六月二二日

『南風原平和ガイドの会による南風原を題材にした戦争紙芝居三部作の語りと講話』



●1年3組で「二度目の約束」(南風原陸軍病院で勤務していた看護婦さんの証言)を読むガイドの大城律子さん(字照屋)。「1年生には難しいと思っていただけ、よく聞いてくれて、最後に平和の鐘を歌ってくれました。」



●1年1組と4組で「二度目の約束」を読むガイドの山入端美佐枝(字津嘉山)さん。「低学年でもよく話を聞いてくれました。事前学習をしていたので、大人の思いつかない質問もありこちらが戸惑いました。」と、話していました。



●1年2組と5組で「開けなかつたおがえり」(戦争の悲惨さのイメージを伝える)と読む場合、紙芝居のガイドの松井裕子さん(字本部)は、



「開けなかつたおがえり」(戦争の悲惨さのイメージを伝える)と読む場合、紙芝居のガイドの松井裕子さん(字本部)は、

れはかにはイたた ●
てどつ触、ド子お2
うたれ「のど帰年
答しでる子平もり1
えてす事と良たな組
に戦。がも美ちさと
困争最でた智のい4
りを後き、ち子体「組
ますに、のさ「験へで
する、と素ん「九「
たの女て直へを州聞
た。?のもな字読にけ
「と子嬉優神ん疎な
と間にしし里だ開か
話か人 さ」ガしつ

たしうたらなでたてひ日がない落ては、
て。らし工きち き常 りう・ちも
い「とて夫るが子付生もがこ大て爆ど
まと思いをよ実どけ活つちと変怖弾う
し話 けこう感も にとだにと がし



●3年2組と4組で「13才の別れ」を読んだ吉本皓一さん(沖縄市)は、昔の紙芝居屋さん風の衣装で話してくれました。また3年1組と3組では、太田玲子さん(那覇市)が「13才の別れ」を読んでくれました。



●2年3組の金城淳保(字宮城)さんは紙芝居を読む前に、戦争時の南風原についても話してくださり、休み時間には子どもたちに質問せめにあっていました。



●2年2組と5組で読んだガイドの仲宗根和美さん(浦添市)は、「北丘小学校の、低学年は紙芝居・高学年は講話という、学年に応じた変化ある取り組みは良いと思います。」と話していました。



●6年生では文化センター上地克哉さんによる、戦前の学校教育の様子のパネルや、実際に使われた爆弾の破片を見て、児童に触れる学習をしました。教師も児童も熱心に聞いていました。



●5年生では文化センター平良次子さんが、町内の戦跡や、南風原が沖縄戦に巻き込まれていく様子、学童疎開の子どもたちの様子を話しました。子どもたちは身近なところに戦跡があることを知り驚いた様子でした。



●4年生では南風原町史戦争編執筆者の文化センター金城実倫さんが「南風原の沖縄戦」をテーマに北丘小校区の戦跡や中村キクさんの証言について話しました。

あなたも学校の応援団になりませんか? **ボランティア募集中!**
★未来を担う南風原町の子ども達を地域で育てましょう★

南風原町教育委員会
生涯学習文化課
TEL889-0568